

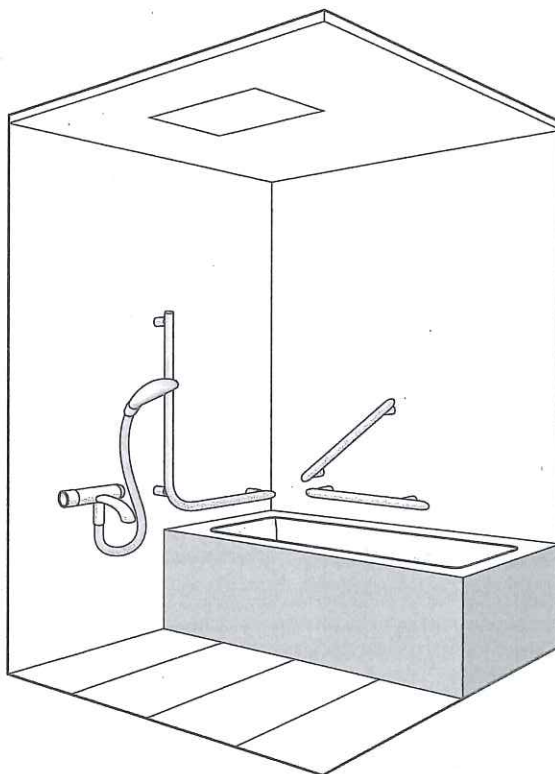
生活支援技術

問題 35 老化に伴う機能低下のある高齢者の住まいに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 寝室はトイレに近い場所が望ましい。
- 2 寝室は玄関と別の階にする。
- 3 夜間の騒音レベルは80 dB以下になるようにする。
- 4 ベッドは照明の真下に配置する。
- 5 壁紙と手すりは同色にするのが望ましい。

問題 36 Lさん(25歳, 男性)は, 第7胸髄節(Th7)を損傷したが, 現在, 状態は安定していて, 車いすを利用すれば1人で日常生活ができるようになった。図はLさんの自宅の浴室であり, 必要な手すりは既に設置されている。

Lさんが1人で浴槽に入るための福祉用具として, 最も適切なものを1つ選びなさい。



- 1 段差解消機
- 2 ストレッチャー
- 3 すべり止めマット
- 4 四点歩行器
- 5 移乗台

問題 37 耳の清潔に関する介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 耳垢の状態を観察した。
- 2 綿棒を外耳道の入口から3 cm 程度挿入した。
- 3 耳介を上前方に軽く引きながら、耳垢を除去した。
- 4 蒸しタオルで耳垢塞栓を柔らかくして除去した。
- 5 耳かきを使用して、耳垢を毎日除去した。

問題 38 歯ブラシを使用した口腔ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯ブラシの毛は硬いものを勧める。
- 2 強い力で磨く。
- 3 歯と歯肉の境目のブラッシングは避ける。
- 4 歯ブラシを小刻みに動かしながら磨く。
- 5 使用後の歯ブラシは、柄の部分を上にしてコップに入れて保管する。

問題 39 Mさん(84歳, 男性)は, 10年前に脳梗塞(cerebral infarction)^{みぎかたまひ}で右片麻痺になり, 右上肢の屈曲拘縮がある。今までは自分で洋服を着ていたが, 1週間ほど前から左肩関節の周囲に軽い痛みを感じるようになり, 上着の着脱の介護が必要になった。

Mさんへの上着の着脱の介護に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 服を脱ぐときは, 右上肢から脱ぐ。
- 2 右手首に袖を通すときは, 介護福祉職の指先に力を入れて手首をつかむ。
- 3 右肘関節を伸展するときは, 素早く動かす。
- 4 右肘に袖を通すときは, 前腕を下から支える。
- 5 衣類を準備するときは, かぶり式のものを選択する。

問題 40 経管栄養を行っている利用者への口腔ケア^{こうくう}に関する次の記述のうち, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 スポンジブラシは水を大量に含ませて使用する。
- 2 上顎部は, 口腔^{こうくう}の奥から手前に向かって清拭する。
- 3 栄養剤注入後すぐに実施する。
- 4 口腔内^{こうくうない}を乾燥させて終了する。
- 5 空腹時^{こうくう}の口腔ケアは避ける。

問題 41 スライディングボードを用いた、ベッドから車いすへの移乗の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 アームサポートが固定された車いすを準備する。
- 2 ベッドから車いすへの移乗時には、ベッドを車いすの座面より少し高くする。
- 3 ベッドと車いすの間を大きくあけ、スライディングボードを設置する。
- 4 スライディングボード上では、臀部を素早く移動させる。
- 5 車いすに座位を安定させ、からだを傾けずにスライディングボードを抜く。

問題 42 利用者を仰臥位(背臥位)から側臥位へ体位変換するとき、トルクの原理を応用した介護方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者とベッドの接地面を広くする。
- 2 利用者の下肢を交差させる。
- 3 利用者の膝を立てる。
- 4 滑りやすいシートを利用者の下に敷く。
- 5 利用者に近づく。

問題 43 視覚障害のある利用者の外出に同行するときの支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレを使用するときは、トイレ内の情報を提供する。
- 2 階段を上るときは、利用者の手首を握って誘導する。
- 3 狭い場所を歩くときは、利用者の後ろに立って誘導する。
- 4 タクシーに乗るときは、支援者が先に乗って誘導する。
- 5 駅ではエレベーターよりエスカレーターの使用を勧める。

問題 44 Aさん(78歳, 男性, 要介護2)は, 脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症で嚥下障害^{えんげしょうがい}がある。自宅で妻と二人暮らしで, 訪問介護(ホームヘルプサービス)を週1回利用している。訪問時, 妻から, 「飲み込みの難しいときがある。上手に食べさせるにはどうしたらよいか」と相談があった。

訪問介護員(ホームヘルパー)の助言として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食事のときは, いすに浅く座るように勧める。
- 2 会話をしながら食事をするように勧める。
- 3 食事の後に嚥下体操^{えんげたいそう}をするように勧める。
- 4 肉, 野菜, 魚などは軟らかく調理するように勧める。
- 5 おかずを細かく刻むように勧める。

問題 45 慢性腎不全(chronic renal failure)の利用者の食材や調理方法として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エネルギーの高い植物油を控える。
- 2 レモンや香辛料を利用し, 塩分を控えた味付けにする。
- 3 肉や魚を多めにする。
- 4 砂糖を控えた味付けにする。
- 5 野菜は生でサラダにする。

問題 46 利用者の食事支援に関して、介護福祉職が連携する職種として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 スプーンや箸がうまく使えないときは、食事動作の訓練を言語聴覚士に依頼する。
- 2 咀嚼障害があるときは、義歯の調整を作業療法士に依頼する。
- 3 座位の保持が困難なときは、体幹訓練を理学療法士に依頼する。
- 4 摂食・嚥下障害があるときは、嚥下訓練を義肢装具士に依頼する。
- 5 食べ残しが目立つときは、献立や調理方法の変更を社会福祉士に依頼する。

問題 47 入浴の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 着替えの衣服は、介護福祉職が選択する。
- 2 空腹時の入浴は控える。
- 3 入浴前の水分摂取は控える。
- 4 食後1時間以内に入浴する。
- 5 入浴直前の浴槽の湯は、45℃で保温する。

問題 48 シャワー浴の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 シャワーの湯温は、介護福祉職よりも先に利用者が確認する。
- 2 からだ全体にシャワーをかけるときは、上肢から先に行く。
- 3 利用者が寒さを訴えたときは、熱いシャワーをかける。
- 4 利用者が陰部を洗うときは、介護福祉職は背部に立って見守る。
- 5 脱衣室に移動してから、からだの水分を拭きとる。

問題 49 ^{ひだりかたまひ}左片麻痺のある利用者が、浴槽内から一部介助で立ち上がる方法として、
最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 利用者の左膝を立てて、左の踵^{かかと}を臀部^{でんぶ}に引き寄せてもらう。
- 2 浴槽の底面に両手を置いてもらう。
- 3 右手で手すりをつかんで前傾姿勢をとり、臀部^{でんぶ}を浮かせてもらう。
- 4 利用者の両腋窩に手を入れて支える。
- 5 素早く立ち上がるように促す。

問題 50 入浴関連用具の使用方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ
選びなさい。

- 1 シャワー用車いすは、段差に注意して移動する。
- 2 入浴の移乗台は、浴槽よりも高く設定する。
- 3 浴槽設置式リフトは、臥位^{がい}の状態で使用する。
- 4 入浴用介助ベルトは、利用者の胸部に装着する。
- 5 ストレッチャーで機械浴槽に入るときは、ストレッチャーのベルトを外す。

問題 51 便秘の傾向がある高齢者に自然排便を促すための介護として、最も適切な
ものを1つ選びなさい。

- 1 朝食を抜くように勧める。
- 2 油を控えるように勧める。
- 3 散歩をするように勧める。
- 4 腰部を冷やすように勧める。
- 5 就寝前にトイレに座るように勧める。

問題 52 認知機能の低下による機能性尿失禁で、夜間、トイレではない場所で排尿してしまう利用者への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日中、足上げ運動をする。
- 2 ズボンのゴムひもを緩いものに変える。
- 3 ぼうこうくんれん膀胱訓練を行う。
- 4 はいせつ排泄してしまう場所に入れないようにする。
- 5 トイレの照明をつけて、ドアを開けておく。

問題 53 次の記述のうち、はいせつぶつ排泄物で汚れた衣類をタンスに隠してしまう認知症(dementia)の利用者への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 タンスの中に汚れた衣類を入れられる場所を確保する。
- 2 「汚れた衣類は入れないように」とタンスに貼紙をする。
- 3 トイレに行くときには、同行して近くで監視する。
- 4 つなぎ服を勧める。
- 5 隠すところを見たら、毎回注意する。

問題 54 次亜塩素酸ナトリウムを主成分とする衣類用漂白剤に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 全ての白物の漂白に使用できる。
- 2 色柄物の漂白に適している。
- 3 熱湯で薄めて用いる。
- 4 手指の消毒に適している。
- 5 衣類の除菌効果がある。

問題 55 次の記述のうち、ズボンの裾上げの縫い目が表から目立たない手縫いの方
法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 なみ縫い
- 2 半返し縫い
- 3 本返し縫い
- 4 コの字縫い(コの字とじ)
- 5 まつり縫い

問題 56 心地よい睡眠環境を整備するためのベッドメイキングに関する次の記述の
うち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 シーツを外すときは、汚れた面を外側に丸めながら外す。
- 2 しわを作らないために、シーツの角を対角線の方に伸ばして整える。
- 3 袋状の枕カバーの端を入れ込んで使用するとき、布の折り込み側が上になるよ
うに置く。
- 4 掛け毛布はゆるみを作らずにシーツの足元に押し込む。
- 5 動かしたベッド上の利用者の物品は、使いやすいように位置を変えておく。

問題 57 夜勤のある施設職員が良質な睡眠をとるための生活習慣に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 夜勤に入る前には仮眠をとらない。
- 2 寝る前にスマートフォンでメールをチェックする。
- 3 朝食と夕食の開始時間を日によって変える。
- 4 夜勤後の帰宅時にはサングラス(sunglasses)をかけるなど、日光を避けるようにする。
- 5 休日に寝だめをする。

問題 58 Bさん(102歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。高齢による身体機能の衰えがあり, 機能低下の状態が長く続いていた。1週間前から経口摂取が困難になった。1日の大半は目を閉じ, 臥床状態がしょうじょうたいが続いている。医師から, 「老衰により死期が近い」と診断され, 家族は施設で看取りたいと希望している。

死が極めて近い状態にあるBさんの看取りに必要な情報として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 体重の減少
- 2 夜間の睡眠時間
- 3 延命治療の意思
- 4 嚥下可能えんげかのうな食形態
- 5 呼吸の状態

問題 59 介護老人福祉施設における終末期の利用者の家族支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 緊急連絡先を1つにすることを提案する。
- 2 面会を控えるように伝える。
- 3 死に至る過程で生じる身体的変化を説明する。
- 4 死後の衣服は浴衣がよいと提案する。
- 5 亡くなる瞬間に立ち会うことが一番重要だと伝える。

問題 60 死亡後の介護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 死後硬直がみられてから実施する。
- 2 生前と同じように利用者に声をかけながら介護を行う。
- 3 義歯を外す。
- 4 髭剃り後はクリーム塗布ひげそを控える。
- 5 両手を組むために手首を包帯でしばる。